



# (株)フェローテック (6890)

## 2004年3月期中間決算説明会

当中間期連結決算においては、フェローテック単体は4月～9月の業績が対象、連結子会社・持分法適用会社は1月～6月の業績が対象となっております。

2003年12月3日

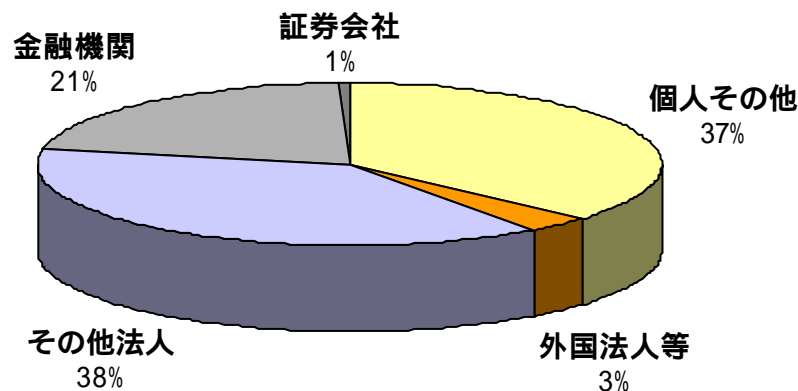
<http://www.ferrotec.co.jp/>

本資料は、2004年3月期中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は2003年12月3日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。



# 会社概要

商号： (株)フェローテック (英訳名) Ferrotec Corporation  
設立： 1980年9月 (店頭登録 1996年10月)  
役員： 代表取締役 山村 章  
取締役 賀 賢漢、福井 徹、神野公行、吉田 勝、椿 勲、  
常勤監査役 松井宏之、監査役 中元紘一郎、木下 隆博  
従業員数： 単体115名 連結2,556名  
資本金： 58億2,490万円 (期末発行済株式数 :17,251,325株)  
大株主： 三井物産16.23%、小松製作所10.55%、クボタ6.96%、  
山村章5.53%、日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口) 3.78%  
株主数： 4,370名  
株主構成：





# 連結会社情報

## 連結子会社 10社

(株)フェローテック精密

(真空シールの国内生産拠点)

(株)フェローテッククオーツ

(石英製品製造販売、国内に2工場保有)

(株)フェローテックシリコン

(単結晶シリコン引上、シリコンウエーハ加工)

杭州大和熱磁電子有限公司

(自社製品の外、CMS事業の生産拠点)

上海申和熱磁電子有限公司

(CMS事業のシリコン加工・装置洗浄の拠点)

杭州日磁科技工業園産業開発有限公司

(外資企業の中国進出サポート&自社工場の管理)

Ferrotec Corporation Singapore Pte. Ltd.

(東南アジアの販売拠点)

Ferrotec (USA) Corporation

(米国における製造・販売拠点)

Ferrotec Investments, LLC

(米国の不動産管理会社)

Ferrotec GmbH

(ヨーロッパ販売拠点、4つの販売子会社を有する)

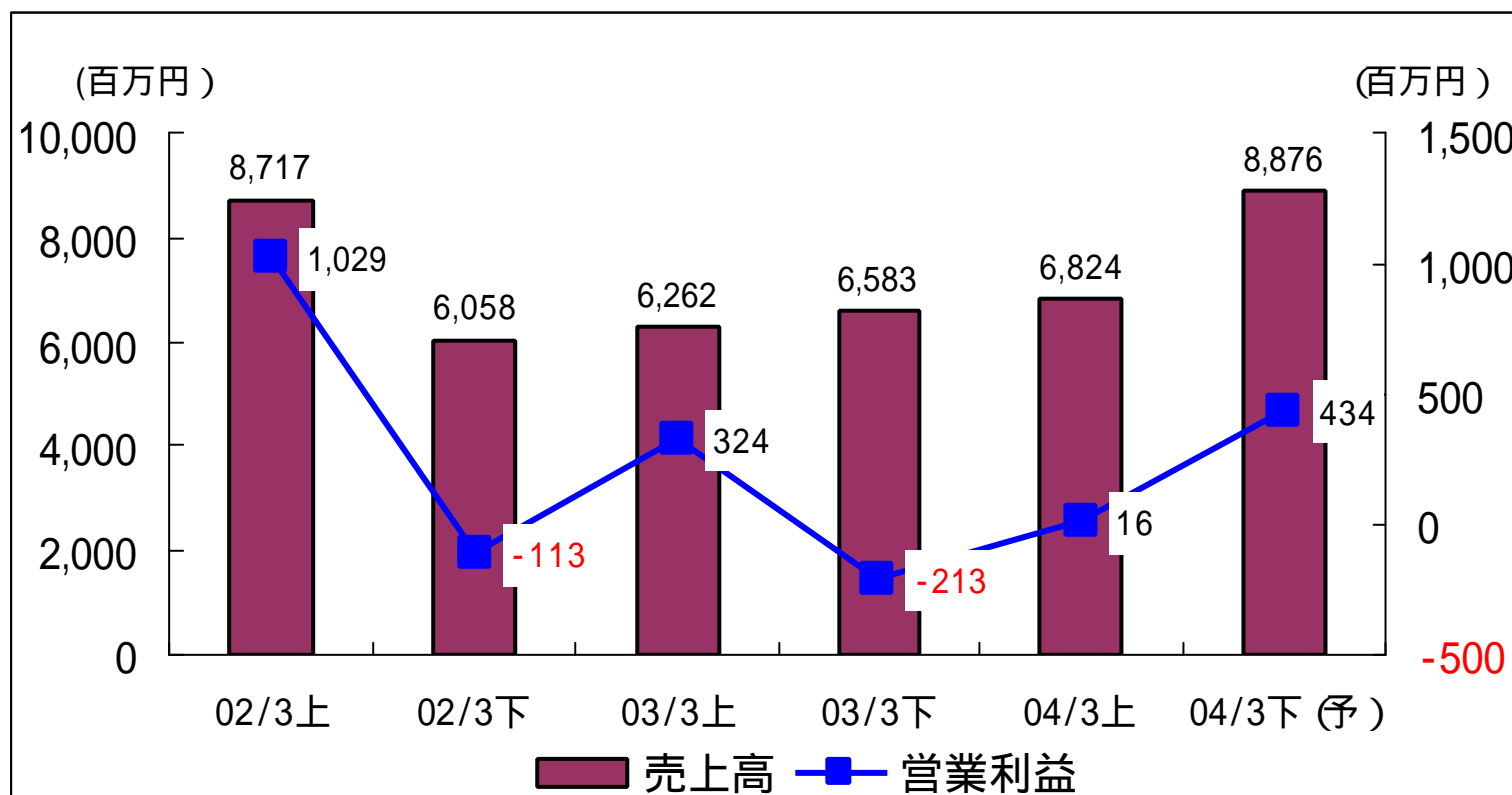


# 会社沿革

- 1980年 :米国フェローフルイデックス社の日本販売子会社として設立
- 1983年 :日本国内で磁性流体応用製品の製造を開始
- 1987年 :米国本社より全株式を取得し独立 (MBO)
- 1988年 :国産磁性流体の製造開始
- 1992年 :中国に中国現法設立し、サーモモジュール・コンピュータシールを製造開始
- 1996年 :店頭公開 (IPO)
- 1998年 :石英製造会社フェローテッククオーツを子会社化
- 1999年 :フェローテックUSAを友好的TOBで買収
- 2001年 :コマツグループとの業務提携 / 米国アメリゴン・インコーポレイテッドと業務提携
- 2002年 :フェローテックシリコンを株式交換にて子会社化
  - 三菱電線工業と共同出資でダイヤセルテックを設立
  - フェローテックシリコンを通じて大阪特殊合金のシリコンウェーハ事業を買収
  - 欧州の研究開発拠点、フェローテック・エンジニアリング・ルーマニアを設立
- 2003年 :フェローテック精密とフェローコムが合併



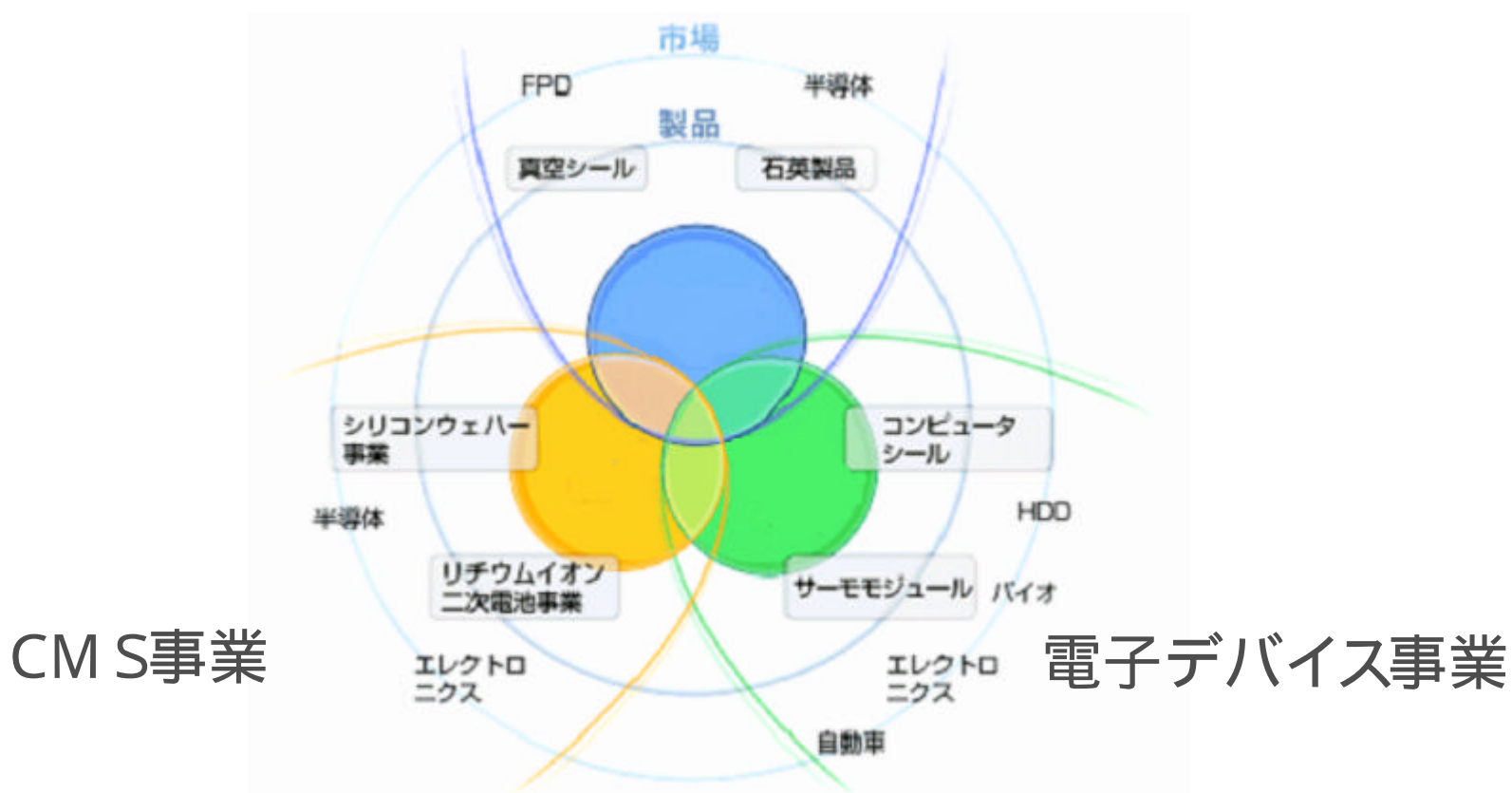
# 売上高と営業利益の推移 (半期)





# セグメント別の状況と見通し

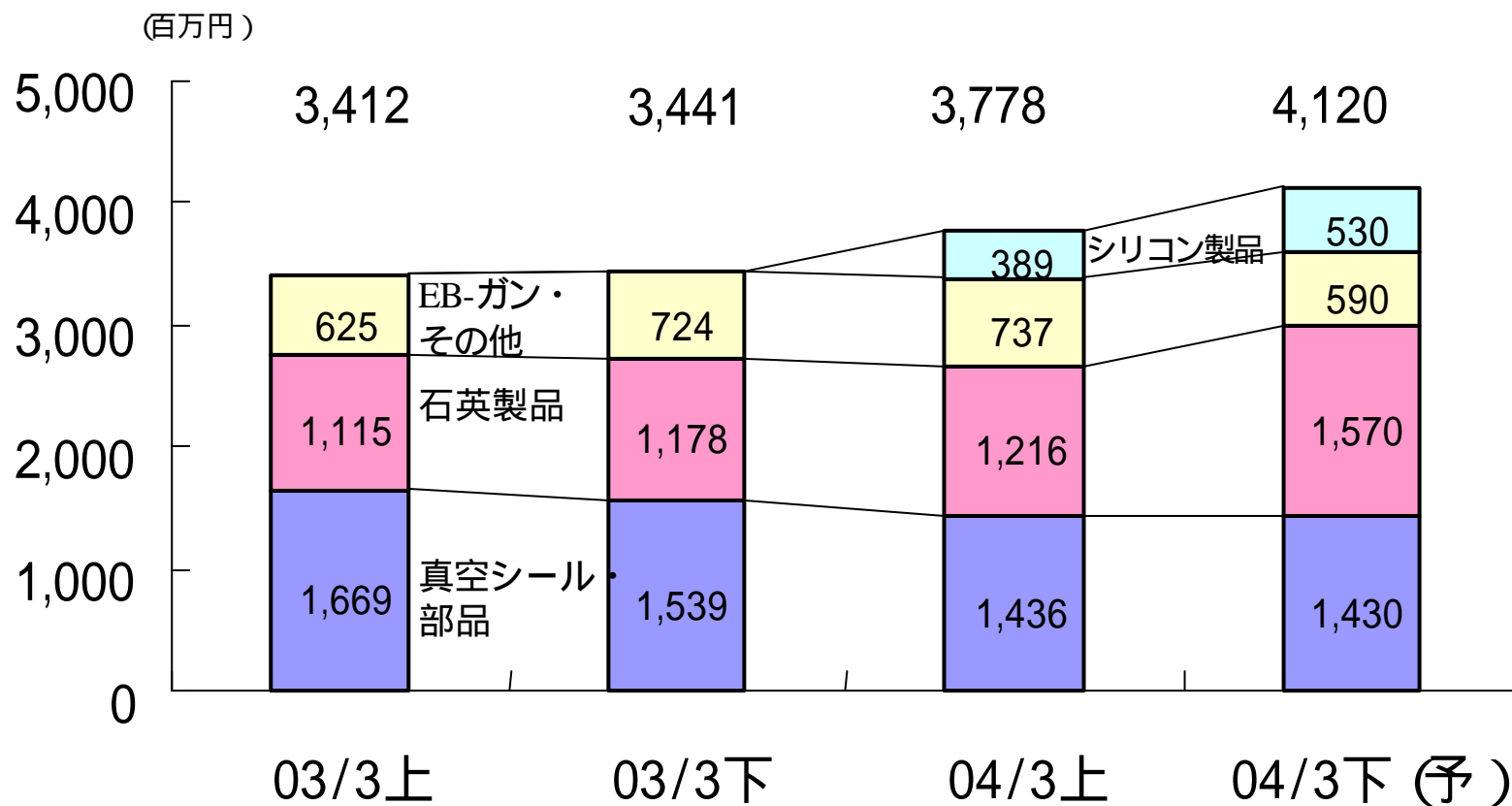
## 装置関連事業





# 装置関連事業

## 装置関連事業 製品別売上高推移





# 真空シールの状況と見通し

- 上半期 (売上高 :計画1,440百万円 実績1,436百万円)
  - 欧米の半導体装置産業は引き続き低調
  - 国内はFPD関連を中心に堅調
- 下半期 (売上高 :予想1,430百万円)
  - 半導体製造は回復基調にあるが、製造装置産業は遅れ気味。
  - 米国主要ユーザーからの引合いがあり 上向いている。  
VARIAN、NOVEARAS、AMAT<sub>UK</sub>など

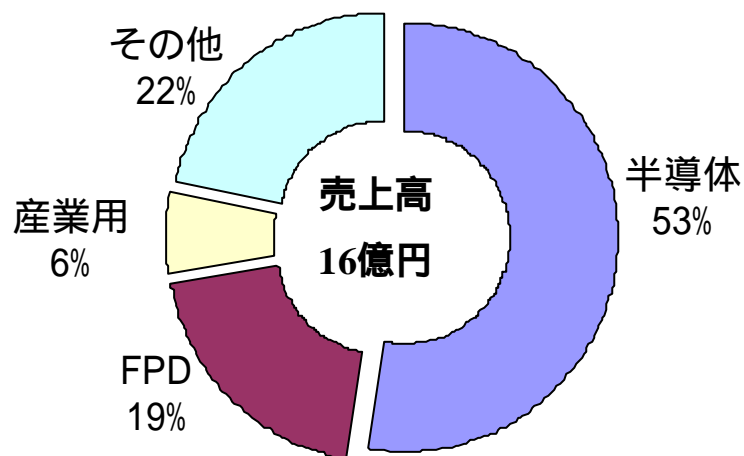




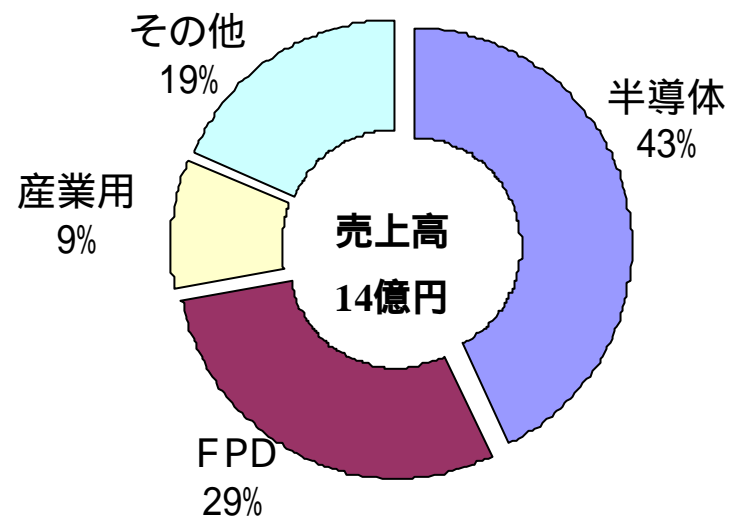


# 真空シールの販売先業種別シェア

販売先別シェア (03/3期中間)



販売先別シェア (04/3期中間)



注.産業用 :産業用真空装置、その他 :航空、医療、科学など



# 石英製品の状況と見通し

## ■ 上半期 (売上高 :計画1,440百万円 実績1,216百万円)

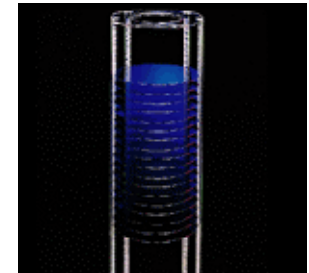
- 半導体製造装置産業の回復遅れ
- 半導体製造装置および部品の単価下落
- CCD・自動車関連の一部が伸びたものの、全体では不振であった

\* リピート品 (製造装置のスペアパーツ)



## ■ 下半期 (売上高 :予想1,570百万円)

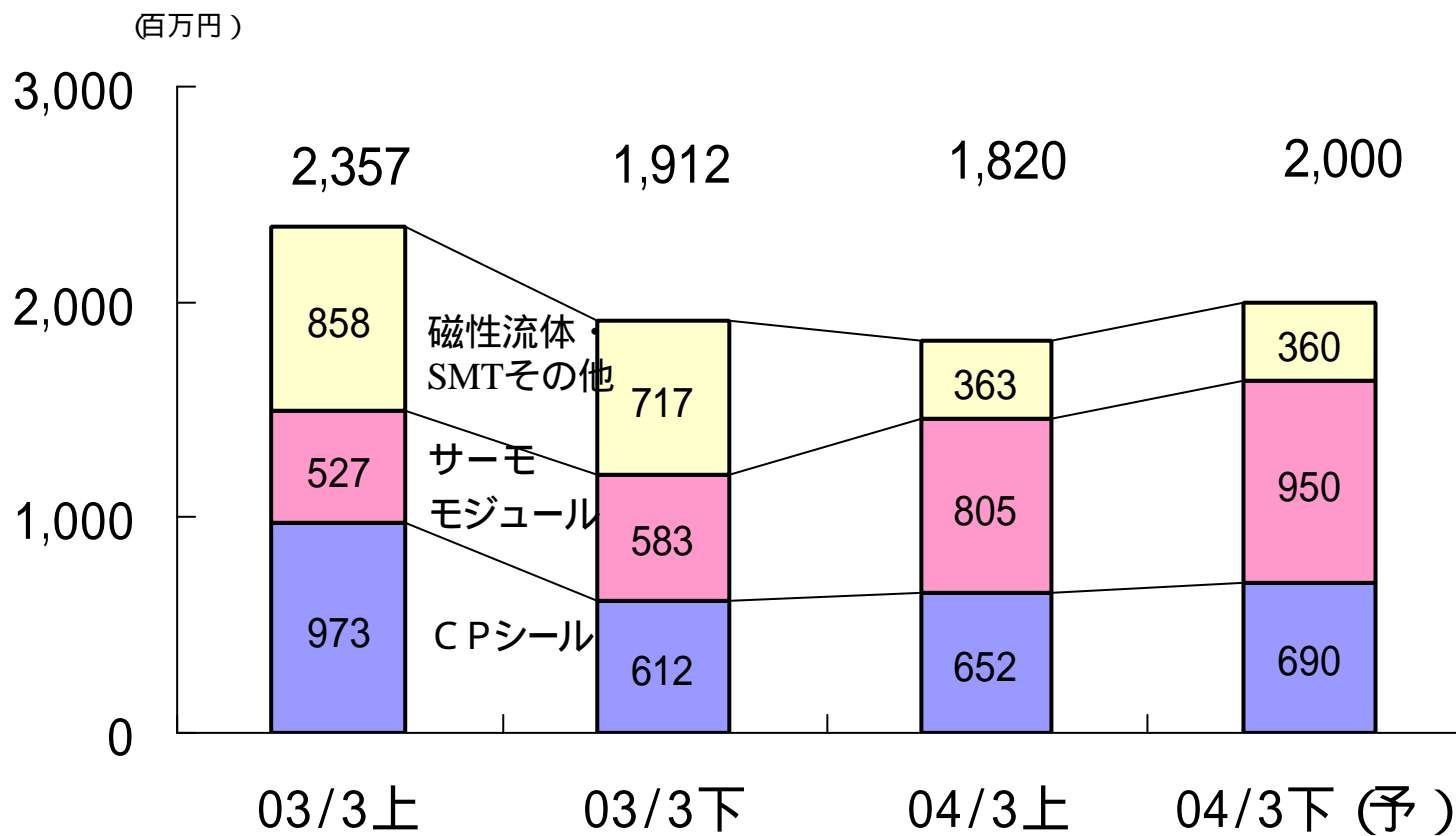
- 全体的に拡大基調
- 300mm製造装置向けが成長
- リピート品も回復しており、中国への生産移管の効果で収益改善が期待される





# 電子デバイス事業

## 電子デバイス事業 製品別売上高推移





# コンピュータシールの状況と見通し

- 上半期 (売上高 :計画690百万円 実績652百万円)
  - エンドユーザーの生産調整によるぶれ
- 下半期 (売上高 :予想690百万円)
  - サーバー関連のボールベアリング軸受需要が堅調
  - FFB (フレイドフィルムベアリング)は納入先のテストで高い評価



FFB





# サーモモジュールの状況と見通し

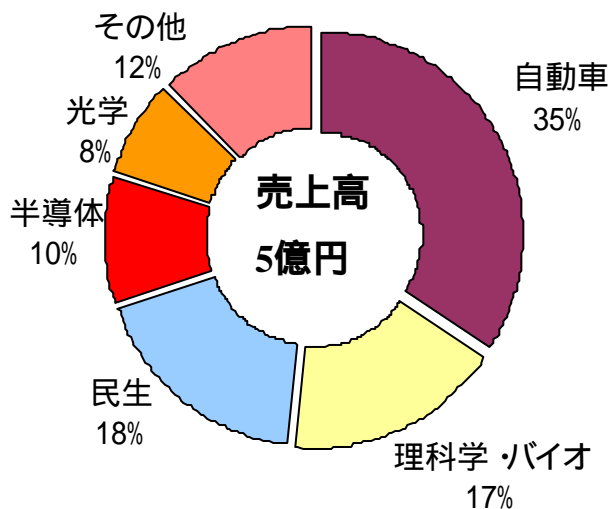
- 上半期 (売上高 :計画800百万円 実績805百万円)
  - 自動車シート温調装置関連が順調に成長
  - アメリゴンが、日産自動車・現代自動車からの受注を発表
- 下半期 (売上高 :予想950百万円)
  - 自動車シート温調装置用サーモモジュールに加え、温調装置 (MTM) の組立・出荷がスタート
  - エレクトロニクス、バイオ、光学など新規用途の開拓



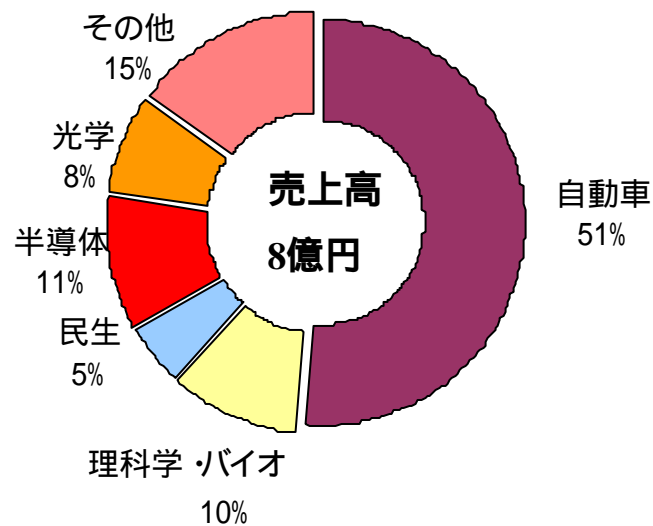


# サーモモジュールの販売先業種別シェア

販売先別シェア (03/3期中間)



販売先別シェア (04/3期中間)





# アメリカン向けのサーモモジュールについて

## ■ 自動車シート温調装置CCSとMTMの違い

CCS

クライメートコントロールシステム



MTM

マイクロサーマルモジュール





# アメリカゴンとの取引

- アメリカゴンとの取引
  - 同社製造の温調装置用サーモモジュールはフェローテックが100%供給
- アメリカゴンと結んだ温調装置の独占製造権：
  - 2001/4～2011/4の10年間
  - 独占供給先：中国、日本、台湾、韓国、インド、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン
  - アメリカゴンがこれらの地域へ供給する場合、当社が最終組立を行い出荷
- アメリカゴンブランドの温調装置組立
  - 2003年4月から中国で開始
  - サーモモジュールの供給から完成品の組立・出荷へシフト
  - 上記地域以外へも装置を供給
- アメリカゴンの温調装置販売動向
  - フォード・トヨタ・日産の高級車セダン・SUVに供給
  - 2003年からGMの高級車セダン・SUVへの供給開始





# アメリカゴンの温調装置採用状況

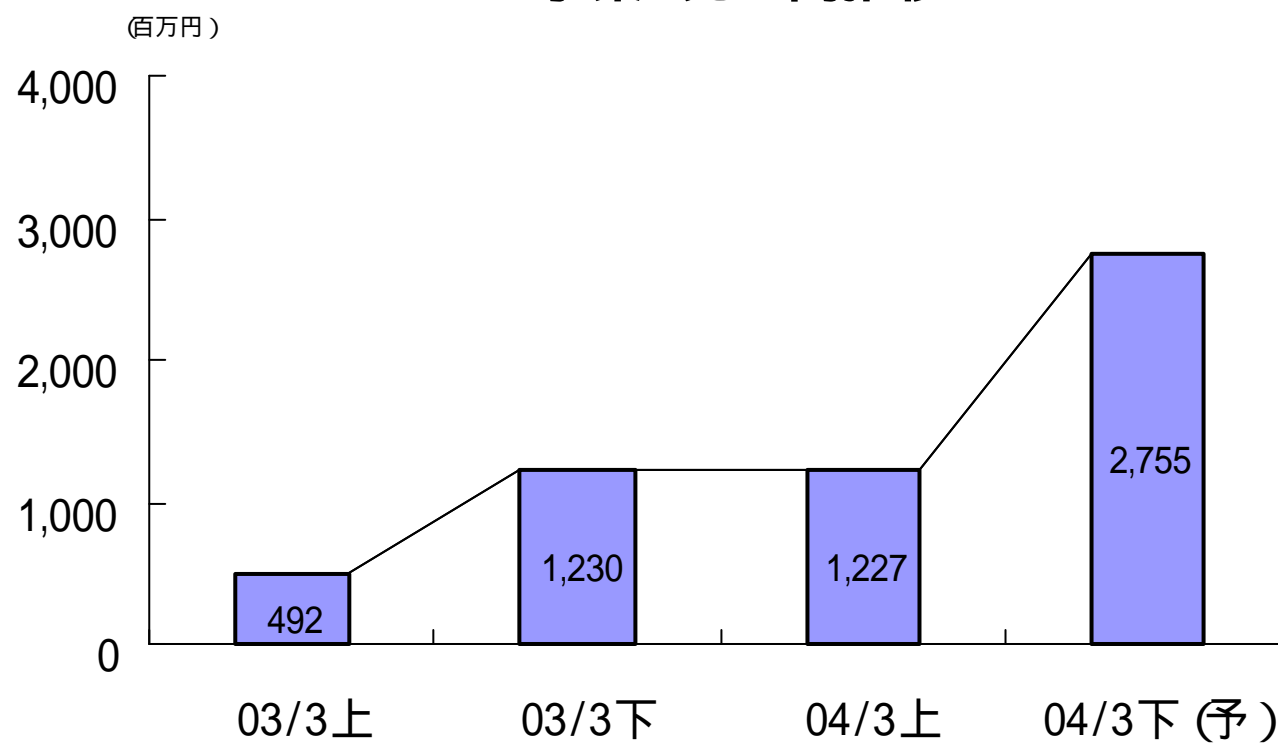
| 採用車種   | 2002年販売数量<br>(=シート数) | 販売開始時期          |
|--|----------------------|-----------------|
| フォード リンカーン ナビゲーター (SUV) / フォード エクスペディション (SUV) | 131,100              | 1999/11、2002/01 |
| レクサス LS430 / トヨタセルシオ (セダン)                     | 54,000               | 2000/06         |
| フォード リンカーン ブラックウッド (SUV)                       | 5,400                | 2001/11         |
| 日産 インフィニティ Q45・M45 (セダン)                       | 10,700               | 2002/06         |
| フォード リンカーン エビエーター (SUV)                        | 15,300               | 2002/08         |
| フォード リンカーン LS (セダン)                            | 8,300                | 2002/10         |
| 合計   | 225,000              |                 |
| <b>今後採用が決まっている車種</b>                           |                      |                 |
| GM キャデラック XLR (セダン)                            |                      | 2003年～          |
| フォード マーキュリー モンテレー (セダン)                        |                      | 2004年～          |
| GM キャデラック デビル (セダン)                            |                      | 2004年～          |
| GM キャデラック エスカラーダ (SUV)                         |                      | 2004年～          |
| 日産 シーマ (セダン)                                   |                      | 2004年～          |
| ヒュンダイ エキュース (セダン)                              |                      | 2004年～          |

アメリカゴン社 2002年アニュアルレポート・「プレスリリース」より



# CMS事業

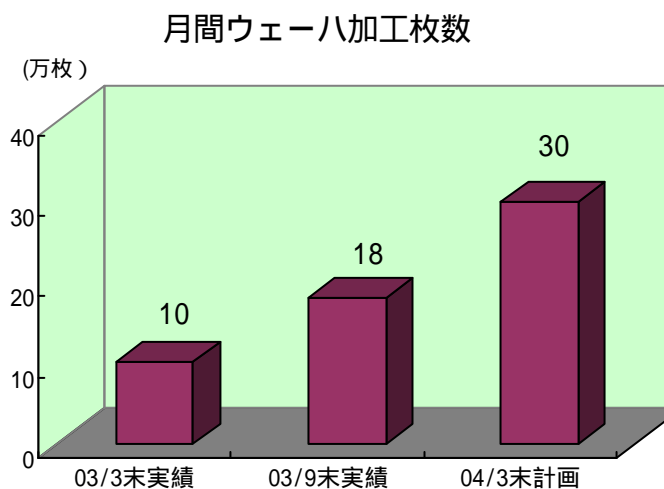
## CMS事業 売上高推移





# CM S事業の状況と見通し

- 上半期 (売上高 : 計画990百万円 実績1,227百万円)
  - ウェーハ加工とリチウム電池事業はSARSの影響により遅れ
  - その他の既存事業 (装置洗浄・工作機器など)は順調に拡大
- 下半期 (売上高 : 予想2,755百万円)
  - ウェーハ加工が拡大、本稼動開始
  - 全体に収益改善、一部事業は黒字化





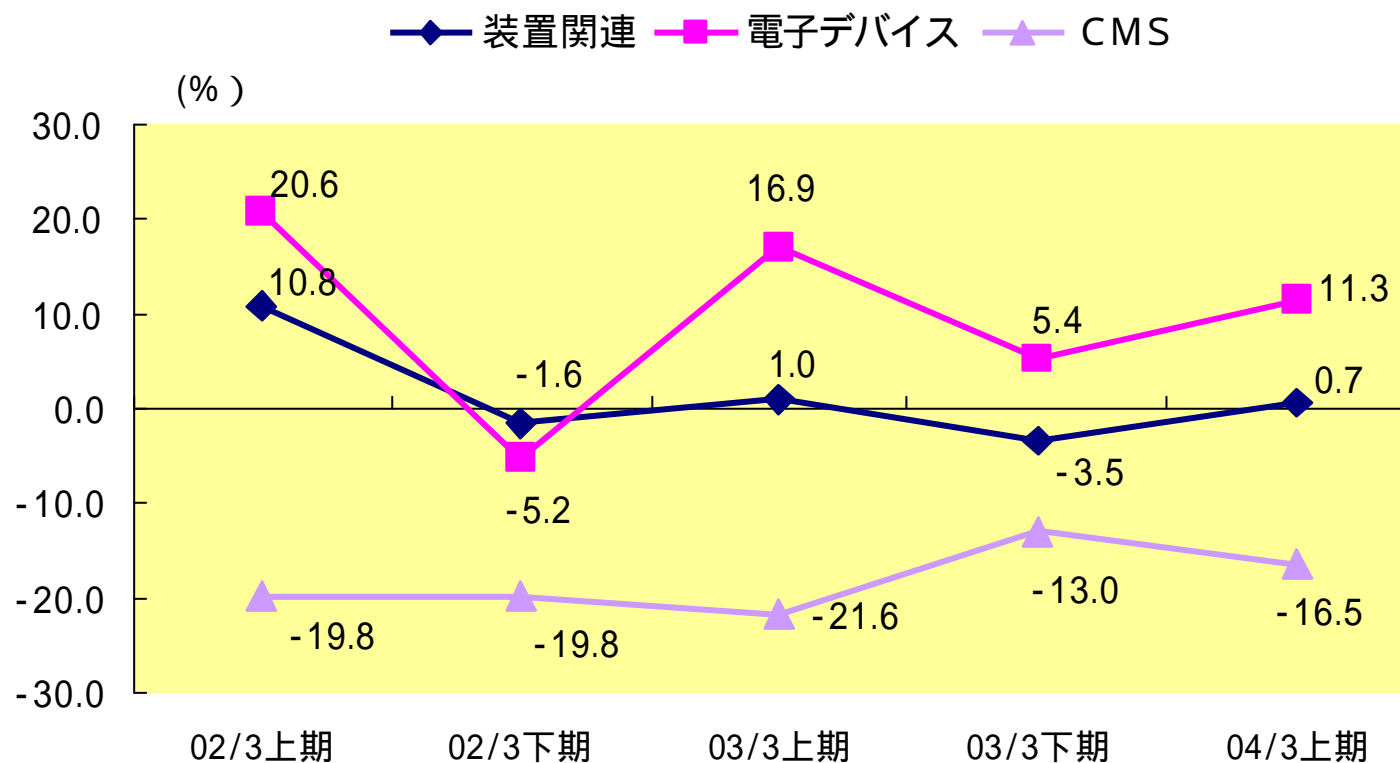
## シリコンウェ-ハ加工ラインオープン式典



2003年10月23日当社上海工場 (上海申和熱磁電子有限公司)にて  
東芝セラミックスからのウェ-ハ加工事業は着実に進展



# セグメント別営業利益率の推移

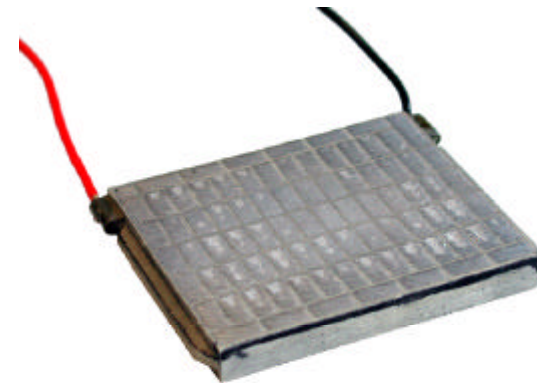


注.現在のセグメントは03年3月期からの採用であり、02年3月期の営業利益率は参考数値。



# 研究開発

- FFBの量産技術開発
- サーモモジュール 高性能材料の開発
  - 発電用サーモモジュール
  - 省電力型サーモモジュール





# 轉換社債発行

## ■ スイスフラン建轉換社債型新株予約権付社債

- 発行日： 2003年11月17日
- 発行総額： 23百万スイスフラン
- 実調達額： 1,870百万円
- 利率： 0.125%
- 轉換価額： 900円
- 償還期限： 2008年3月31日
- 新株予約権の行使期間： 2004年4月1日～2008年3月17日
  
- 資金使途  
子会社等への投融資及び運転資金に充当
- 効果  
自動車用温調シート向けサーモモジュール他の主力製品事業の拡大による  
収益への貢献と、轉換に伴う自己資本の増強